

# 切込投入機

袋物大袋の開袋作業が、  
こんなに簡単・快適・スムーズに！

袋物大袋の開袋、計量から、ミキサーへの投入まで、袋物開袋搬送システムにおける作業効率の向上は、今後のますます大切な課題です。

▶ 日清エンジニアリングの「切込投入機」は、こうしたニーズに応じて開発されたコンパクトな省力機械。「袋物の運搬 → 開袋 → ミキサーへの投入」という作業プロセスの中で、とくに開袋作業をよりいっそう簡単・快適・スムーズにしました。どなたにもラクラク使いこなせるイージーオペレーションです。



- 袋物大袋の開袋作業を大幅に省力化。
- 大袋の口がしっかり開き、空気の置換がスムーズな独自のハンガーフレームにより、袋物の排出がスムーズ。
- 大袋の移動がらくに行えるコンベアを採用。
- ステンレス製の接続部により、耐久性が高く、錆の心配も解消。

現場のニーズから生まれた数々の新機構を採用！

袋物大袋の「開袋」「ミキサーへの投入」がきわめてスムーズです！

## 切込投入機の 操作手順

1

袋物大袋が油圧式のテーブルリフターから切込投入機へと送られます。



ハンガーフレーム

2

切込投入機の台に送られてきた時点で、袋のカットテープを引きながら、同時に台の上を傾斜テーブルへと移動させて、袋の口にハンガーフレームを差し込みます。



3

傾斜テーブルを傾けて、搬送機の口へ原料を投入します。

4

搬送機からホールディングビン（またはビンテックス）へ、さらに計量制御盤で操作状況を確認しながら自動計量機で原料を所定量取り出して、ミキサーへと送ります。